

上下水道局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度 事業評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	1	浸水対策事業	下水道計画課	近年、集中的な豪雨に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、公共下水道の整備を進め、流域全体の浸水に対する安全度の向上を図る。	浸水被害の抑制	-	目標	-	-	-	-	浸水被害の抑制	継続	3,200,000	3,700,000	増額	165,200	課長	0.80 人	順調	平成27年度に新たに国の下水道浸水被害軽減総合事業の採択を受け、国費を最大限活用しながら引き続き必要な雨水整備を計画的に進めていく。	順調	今後も整備箇所ごとの現場の状況に応じた最も経済的な方法を検討し、整備を行っていく。	
							実績	-	-										係長					2.70 人
							達成率	-	-										職員					17.20 人
II-1-(4)-⑤ 公共施設などの耐震化の推進	2	地震対策事業（水道施設）	計画課	大規模な地震が発生した場合においても、安全で安定的な給水を確保するため水道施設の耐震化を実施するもの。	耐震補強対象施設整備率（旧プラン）	92.3% (H26年度)	目標	61.5 %	92.3 %	100 %		100.0% (H27年度)	継続	412,032	88,300	減額	4,610	課長	0.04 人	順調	引き続き、次期耐震化計画を策定し、計画通り耐震化を実施していく。	順調	水道施設について、引き続き、次期耐震化計画を策定し、計画通り耐震化を実施していく。 下水道施設について、総合地震対策計画に基づき、有人施設の耐震対策に引続き、水処理施設・揚排水施設の耐震化を進めていく。	
							実績	61.5 %	92.3 %									係長	0.10 人					
							達成率	100.0 %	100.0 %									職員	0.42 人					
	3	地震対策事業（下水道施設）	施設課	大規模な地震が発生した場合においても、最低限の下水処理が行えるよう下水道施設の耐震化を実施するもの。	耐震補強対象施設整備率	100.0% (H26年度)	目標	61.5 %	100.0 %			100.0% (H26年度)	継続	845,000	650,000	減額	10,690	課長	0.06 人	順調	総合地震対策計画に基づき、有人施設の耐震対策に引続き、水処理施設・揚排水施設の耐震化を進めていく。	順調	総合地震対策計画に基づき、有人施設の耐震対策に引続き、水処理施設・揚排水施設の耐震化を進めていく。	
							実績	61.5 %	100.0 %									係長	0.25 人					
							達成率	100.0 %	100.0 %									職員	1.00 人					
				下水道施設の耐震化率（ポンプ場、浄化センター水処理施設）	0.0% (H26年度)	目標			3.1 %	5.8 %	15.3% (H32年度)	継続												
			実績																					
			達成率																					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価
II-3-(4)-② 国際協力・交流の推進	4	上下水道技術の国際協力	海外事業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市、ミャンマー国マンダレー市、インドネシアなど）への職員派遣や海外からの研修員受入れなどにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	国際技術協力でアジアの発展に貢献	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	課長	1.70 人	順調	引き続きアジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受け入れによって、対象地域の技術・人材育成に貢献する。また、国際技術協力を通じた人的ネットワークの構築を図りながら、本市職員の技術の継承や実務能力の向上などの人材育成にも寄与する。	順調	日明浄化センター管理棟やウォータープラザなど国際戦略拠点を活用しながら、技術研修の受け入れなど、国際技術協力事業を効率的に実施する。		
							実績	—	—												係長	2.20 人
							達成率	—	—													
III-1-(3)-① 安全で安心しておいしく飲める水道の整備	5	配水管更新事業	計画課	老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、赤水、不出水の解消や管破損事故を防止し、安全で安定的な給水を確保する。	安全で安定的な給水の確保	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	課長	1.00 人	順調	アセットマネジメントの手法を取り入れ、第5期更新計画を策定し、計画通り更新を実施する。	順調	配水管更新事業について、アセットマネジメントの手法を取り入れ、第5期更新計画を策定し、計画通り更新を実施する。アクアフレッシュ事業について、平成27年度までに、既存の給水管を利用したまま直結化工事が可能な学校に対しての支援が完了する予定である。平成28年度以降は、学校の大規模改修にあわせて、直結化への支援を実施できるよう教育委員会と協議を進める。		
							実績	—	—												係長	5.10 人
							達成率	—	—													
III-1-(3)-① 安全で安心しておいしく飲める水道の整備	6	アクアフレッシュ事業（学校の直結式給水の推進）	配水管理課	水槽式給水の小中学校等では、近年の児童、生徒数減による使用水量の減少や、休日に水を使用しないことなどにより、貯水槽内に水が滞留し、水のおいしさが低減する状況にある。そこで、上下水道局では市立小中学校等の直結式給水への切替えを推進するため、既存の給水管口径のまま直結式給水への切替えが可能な学校を対象に直結化の支援をしている。	学校直結化率	76.0% (H26年度)	目標	74.0 %	76.0 %	81.0 %	82.0 %	—	—	—	課長	0.05 人	順調	平成27年度までに、既存の給水管を利用したまま直結化工事が可能な学校に対しての支援が完了する予定である。平成28年度以降は、学校の大規模改修にあわせて、直結化への支援を実施できるよう教育委員会と協議を進める。	順調	平成27年度までに、既存の給水管を利用したまま直結化工事が可能な学校に対しての支援が完了する予定である。平成28年度以降は、学校の大規模改修にあわせて、直結化への支援を実施できるよう教育委員会と協議を進める。		
							実績	70.0 %	76.0 %												係長	0.05 人
							達成率	94.6 %	100.0 %													

上下水道局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
Ⅲ-1-(3)-③ 快適で良質な生活環境をつくる下水道の整備	7	合流式下水道改善事業	下水道計画課	合流式下水道で整備された地区は、大雨時に雨水で希釈された未処理下水の一部が川や海に流れ出ることがある。放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減するため、合流式下水道の改善に努め、良好な水環境をつくる。	良好な水環境の実現	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	0.60 人	順調	平成28年度も引き続き必要な合流改善事業を計画的に進めていく。	順調	平成28年度も引き続き必要な合流改善事業を計画的に進めていく。
実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	係長	1.75 人					
達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	職員	12.90 人					
V-1-(4)-② 再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成	8	小水力発電設備設置事業	浄水課	水道施設における再生可能エネルギーを有効に利用するため、小水力発電の整備推進を図るもの。	再生可能エネルギーの有効利用	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	0.01 人	順調	引き続き、国制度の動向を見極めながら、既設水力発電設備の更新を実施する。	順調	引き続き、国制度の動向を見極めながら、既設水力発電設備の更新を実施する。
実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	係長	0.01 人					
達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	職員	0.15 人					
Ⅵ-3-(3)-④ 下水汚泥などの循環利用	9	下水道資源の有効利用	施設課	下水汚泥のバイオマスエネルギーとしての燃料化やさまざまな資源としての有効利用、また処理水の再利用による循環利用などを行う。	下水汚泥の再資源化率	95.0% (H21年度)	目標	95.0 %	95.0 %	96.0 %	98.0 %	—	—	—	—	—	課長	1.00 人	順調	平成27年10月より汚泥燃料化施設の運用を開始しており、有効利用を進めることができる。また製造した燃料化物は火力発電所などの石炭代替燃料となり、CO2排出削減効果により環境への負荷を低減することができる。 下水処理水の有効利用について、利用用途が限られている中、現状の再利用率を維持しながら、更なる利用率の向上に努める。	順調	平成27年10月より汚泥燃料化施設の運用を開始しており、有効利用を進めることができる。また製造した燃料化物は火力発電所などの石炭代替燃料となり、CO2排出削減効果により環境への負荷を低減することができる。 下水処理水の有効利用について、利用用途が限られている中、現状の再利用率を維持しながら、更なる利用率の向上に努める。
実績	92.2 %	92.2 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	係長	2.33 人					
達成率	97.1 %	97.1 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	職員	12.33 人					
目標	7.1 %	7.1 %	5.9 %	5.9 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
実績	5.3 %	5.9 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
達成率	74.6 %	83.1 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
VII-1-(3)-② 上下水道、消防などの分野における国際協力の推進	10	上下水道技術の国際協力	海外事業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市、ミャンマー国マンダレー市、インドネシアなど）への職員派遣や海外からの研修員受入れなどにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	国際技術協力でアジアの発展に貢献	目標	—	—	—	—	—	—	—	課長	1.70 人	順調	引き続きアジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受入れによって、対象地域の技術・人材育成に貢献する。また、国際技術協力を通じた人的ネットワークの構築を図りながら、本市職員の技術の継承や実務能力の向上などの人材育成にも寄与する。	順調	日明浄化センター管理棟（ビクターセンター）やウォータープラザなど国際戦略拠点を活用しながら、技術研修の受け入れなど、国際技術協力事業を効率的に実施する。海外水ビジネスについても、北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し本市及び本市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心としたビジネス対象国に発信し、ビジネス案件の受注拡大を目指す。		
	実績	—	—			達成率	—	—	—	—	係長	2.20 人	職員	2.80 人							
11	海外水ビジネスの推進	海外事業課	上下水道分野などの海外水ビジネスは、2025年には約87兆円規模の市場に成長することが見込まれ、国の「日本再興戦略」においてもアジアを中心とした水インフラ分野の海外展開が主要分野に位置づけられている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて、「ウォータープラザ北九州」を中核施設とした水ビジネスの国際戦略拠点づくりを進める。	上水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	1.30 人	順調	国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ウォータープラザやビクターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。				
				実績	19,464 千円	45,909 千円			達成率	— %	— %	—	—	係長	1.80 人				職員	3.20 人	
				下水道に関するビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
					実績	909 千円	3,112 千円			達成率	— %	— %									

上下水道局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H26年度 事業 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策 評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
VII-2-(1)-① アジア低炭素化センターを核とした都市インフラビジネスの推進	12	海外水ビジネスの推進	海外事業課	上下水道分野などの海外水ビジネスは、2025年には約87兆円規模の市場に成長することが見込まれ、国の「日本再興戦略」においてもアジアを中心とした水インフラ分野の海外展開が主要分野に位置づけられている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて、「ウォータープラザ北九州」を中核施設とした水ビジネスの国際戦略拠点づくりを進める。	上水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	—	継続	109,585	110,506	維持	56,950	課長	1.30 人	順調	国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ウォータープラザやビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。	順調	北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し本市及び本市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心としたビジネス対象国に発信し、ビジネス案件の受注拡大を目指す。
						実績	19,464 千円	45,909 千円														
						達成率	— %	— %														
					下水道に関するビジネス案件の受注	目標	—	—	—	—	—	継続	109,585	110,506	維持	56,950	係長	1.80 人				
						実績	909 千円	3,112 千円														
						達成率	— %	— %														